

プロジェクト名



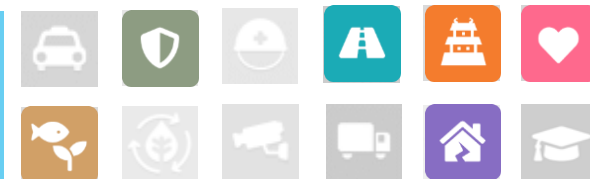
実施地域

島根県益田市

実施団体

一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会(MCSCC)

対象
都市課題



対象地域の特徴・課題・目標
(目指すスマートシティ像)

I. 益田市の概況

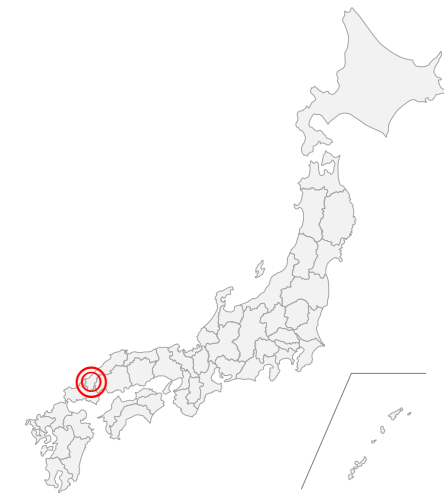
益田市は島根県の西端に位置し、人口約44,400人、面積733.19km²の都市である。石見空港が有り、且つ山陰と山陽を結ぶ交通の要衝地である。

II. 都市の対応すべき主な課題とスマートシティ事業の目標

老朽化する社会インフラ
高齢者対応の増加
増大する行政コスト

中山間部などを持つ地域特性に最適化したハイブリッド型IoTネットワークを利用したスマートシティサービスの実現

インフラ維持監視コストの省力化と効率化
見守りサービス等によるQoLの向上
スマートシティサービスによる効率化



III. 事業のセールスポイント

MCSCCのスマートシティは民間主導プロジェクトです。このスマートシティの特徴は「課題解決型」であることです。従来のスマートシティの多くはアーバンが対象であり、テクノロジー・オリエンテッドな取り組みがほとんどでした。一方でMCSCCのスマートシティはルーラル対応型です。ルーラルであるからこそ社会課題を抽出しやすい、そうした社会課題に対して最適なテクノロジーを選んで適用し、都市間連携でデータを共有化した仕組みを社会実装し、地域課題を解決していく。これがMCSCCの基本的な考え方です。インドネシアのバリ島EV特区で、質の高いインフラの海外展開として向けた事業実施可能性調査事業にも採択されました。MCSCCのスマートシティ開発は、半導体開発手法を応用したものでサイバー空間と親和性が高いのです。

□ 道路維持管理

車両搭載型センシングシステムでの路面性情情報収集とAI路面性情解析

□ 鳥獣被害対策

稼働状況監視型電気柵による、電気柵維持管理作業の省力化

□ 乳幼児見守り

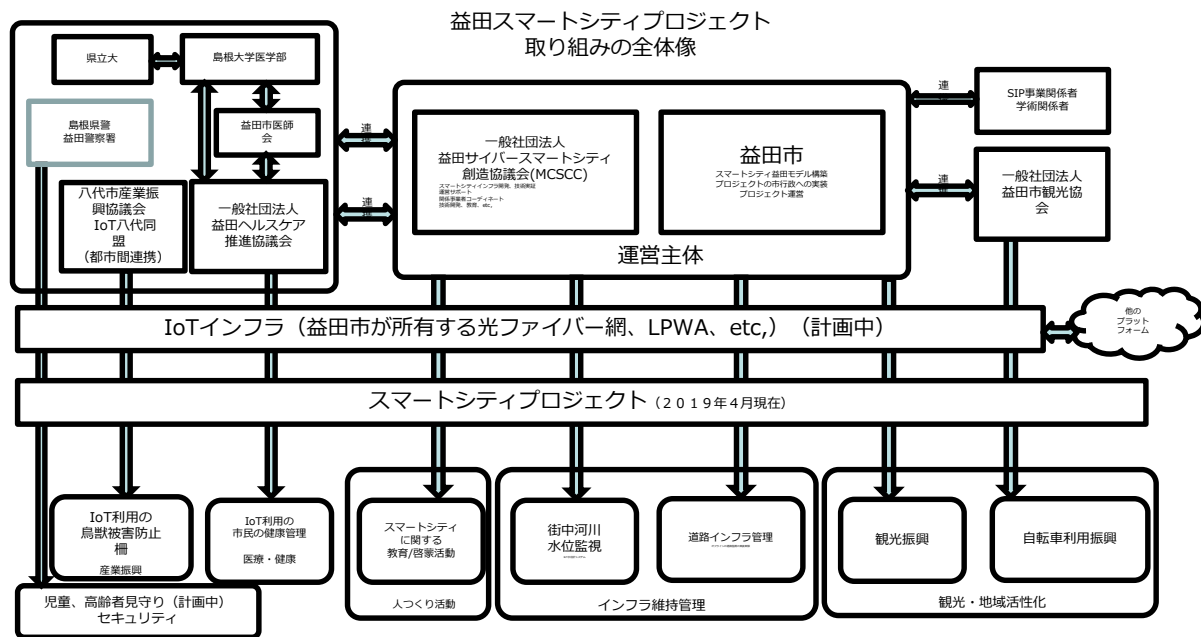
センシングによる乳幼児の自動午睡チェックでの、保育士の省力化

□ 水位監視

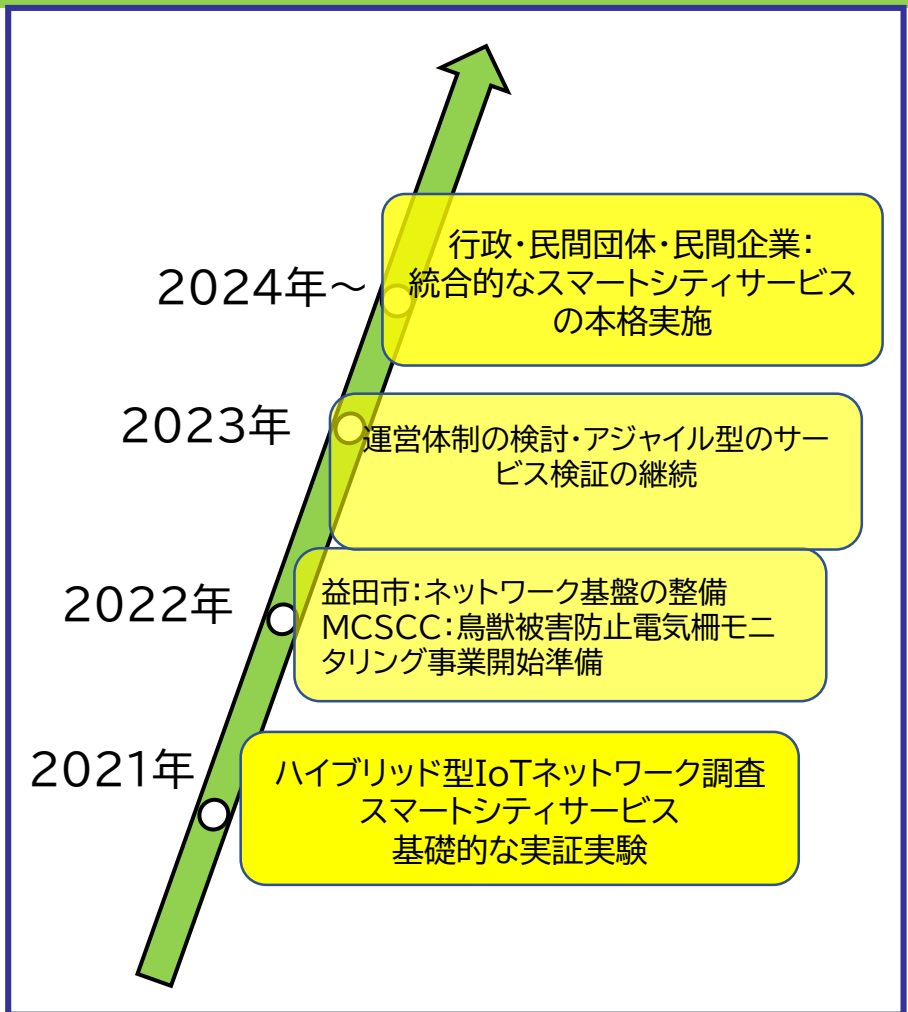
低価格センシングシステムによる水位監視の省力化



◇ 実施体制図



◇ プロジェクトのスケジュール



◇ その他 (受賞歴、政府が進めるスマートシティ事業への選定 等)

【モデル事業選定】

- 国土交通省: 先進的技術やデータを活用したスマートシティの実現手法検討及び実証調査 (その6) (令和元年度)
- 国土交通省: 先進的技術やデータを活用したスマートシティの実証調査 (その9) (令和元年度補正予算)
- 国土交通省: 実装にむけた先進的技術やデータを活用したスマートシティの実証調査 (その11) (令和2年度)